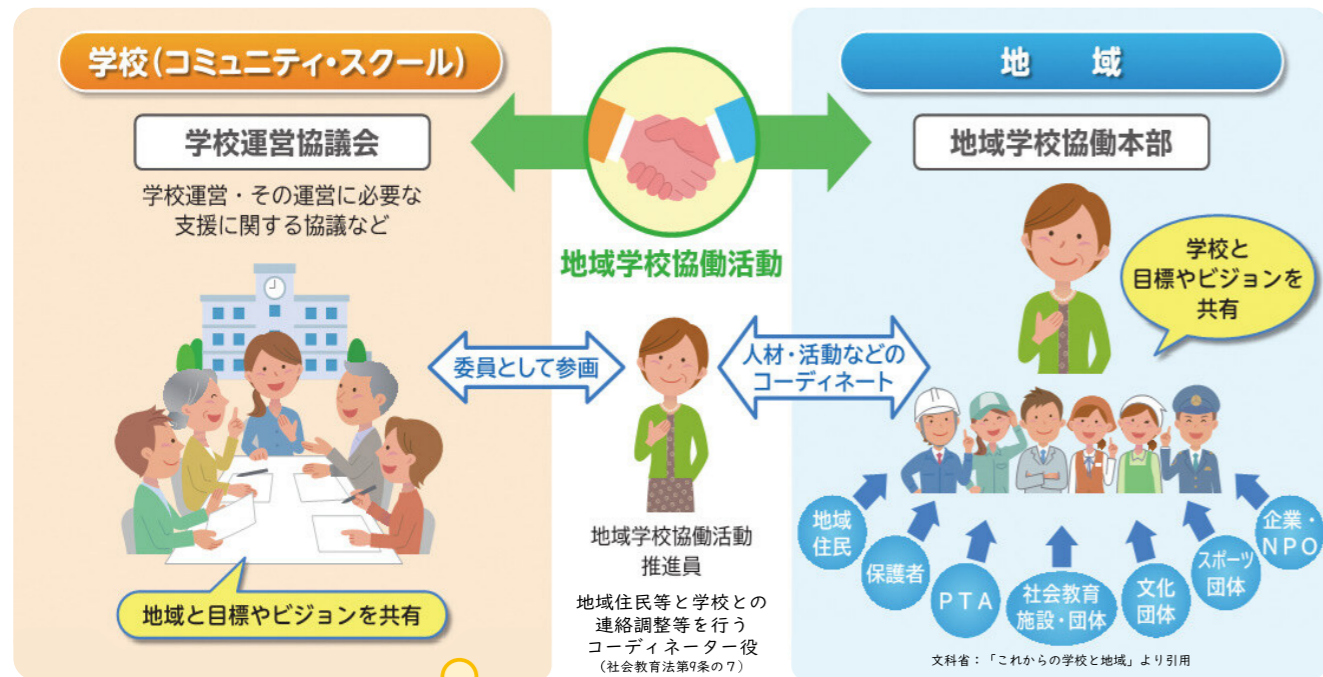


コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進により  
**子どもが育つ、学校・地域づくりを!**



資料：静岡県教育委員会

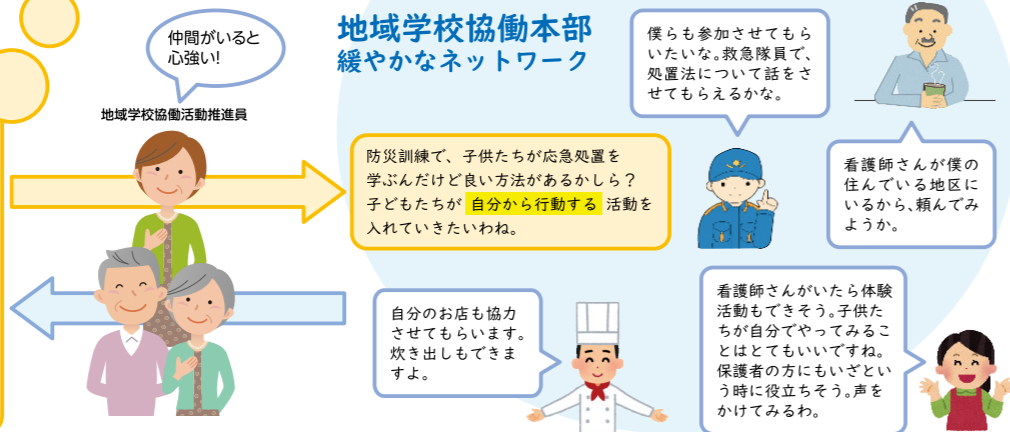
こんな子どもを育てよう! こんな地域をつくっていこう!



**(例)今年度の目標  
自分から行動する子**

**学校運営協議会で協議(例)**

- 校長 9月の防災訓練で、4年生が「応急処置」を学びたいと言っています。
- 委員1 子どもたちが「自ら動き出した」今がチャンスですね。
- 委員2 (地域学校協働活動推進員) 地域の方に協力できる人がいるか聞いてみましょうか。
- 委員3 地域で大人と子供と一緒に防災について考えるいい機会ですね。
- 委員4 子どもたちが「自分から行動できる」ような活動にしたいですね。



**コミュニティ・スクールとは?**

学校運営協議会を設置した学校

**学校運営協議会とは?**

法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関

**学校運営協議会主な3つの役割**

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- ②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
- ③教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる  
(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5)

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるためには、学校と地域が**目標やビジョンを共有すること**が重要です。その上で、幅広い地域住民等が参画することで、教育活動や地域学校協働活動の充実となり、学校・地域づくりにつながります。

**地域学校協働本部とは?**

幅広い地域住民や団体等の参画により形成された緩やかなネットワーク

**地域学校協働本部の3つの要素とは?**

- ①コーディネート機能
- ②多様な活動
- ③継続的な活動

**地域学校協働活動とは?**

学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動  
(社会教育法第5条第2項、第6条第2項)

**具体的にどんな活動?**

例:授業補助、読み聞かせ、登下校の見守り、行事支援、体験的な活動、家庭教育支援、キャリア教育支援、放課後子供教室(しずおか寺子屋)、地域の行事・イベント、ボランティア活動、学びによるまちづくり等

# 伊豆の国市教育大綱

2026年度～2029年度



静岡県伊豆の国市



©伊豆の国市

# 大綱の位置づけ

本大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第1条の3の規定に基づき、本市における教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図るための基本方針であります。本市の「第3次伊豆の国市総合計画前期基本計画(2026年度～2029年度)」に基づき、本市教育が目指す理念や方向性をまとめてあります。この大綱の方針を踏まえ、本市教育の一層の推進を図ることを目的に具体的な施策に取り組んでいきます。



## 1 基本理念

### 『地域ぐるみで子どもを育む教育風土の醸成』

グローバルな視点を持ち、  
自己実現に粘り強く挑戦していく力を育む教育の実現

## 2 基本方針

### 「夢と志を持ち、可能性に挑戦する人」の育成

誰もが可能性に挑戦できる教育環境の整備を推進します。

### 「多様性を理解し、人との関わりを大切にする人」の育成

多様性が尊重され、生きがいと思いやりに満ちた集団の育成を推進します。

### 「ふるさとに誇りを持ち、伊豆の国市を愛する人」の育成

伊豆の国市の歴史・文化や環境の素晴らしさの理解を深める体験学習を推進します。

## 3 重点施策

### 1 「夢と志を持ち、可能性に挑戦する人」の育成

#### 重点施策1 主体的・対話的な深い学びの充実

- 子どもが主語となる授業を展開し、誰もが自分に合った「学び方」を選ぶことができ、ウェルビーイングが感じられる教育を実現します。
- 幼児期から英語や異文化に慣れ親しむ環境の充実を図り、国際理解教育の推進と英語コミュニケーション能力を育みます。
- ICT機器を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。
- 夢や志に挑戦し続ける基盤となる心や身体の健全な成長を促す教育を実践します。

#### 重点施策2 生涯にわたる学びの充実

- 生徒や保護者の希望を尊重し、中学校部活動の地域展開を推進します。
- 各種団体との連携を図り、生涯にわたるスポーツや文化・芸術活動に親しむ機会を充実します。



©伊豆の国市

### 2 「多様性を理解し、人との関わりを大切にする人」の育成

#### 重点施策3 「多様性社会」を力強く生き抜くための資質や能力の育成

- 適正な規模の集団を形成し、ゆるやかな協働性のもと、一人ひとりが自分らしさを発揮できるよう支援します。
- 校種間の連携の深化を図り、架け橋プログラムを軸に、目指す子ども像を共有し、保こ幼小中の一貫教育を推進します。
- 居場所の確保はもちろんのこと、一人ひとりの教育的ニーズに寄り添い、誰一人取り残すことのない教育の実現を目指します。
- 不登校やいじめ、虐待の未然防止と問題の早期発見に努め、関係機関と連携し早期対応を図ります。
- 命を大切に教育を推進するとともに、自分の命は自分で守る「自助」、互いに助け合う「互助」の態度を育みます。

#### 重点施策4 社会性の醸成と定着を目指した実践の充実

- 地域や学校外の人との関わる機会を計画し、人とのつながりを大切にする中で、公共の精神を尊重する心を育みます。
- 社会の一員としてより良い社会づくりのため、行動する意識や能力を育みます。

### 3 「ふるさとに誇りを持ち、伊豆の国市を愛する人」の育成

#### 重点施策5 地域と共にある園・学校づくり

- コミュニティ・スクールと地域学校協働本部が連携しながら、園・学校・家庭・地域が総がかりで子どもの健やかな育ちを支える教育風土を醸成します。
- 地域資源を活用し、地域の魅力をより深く理解できるような取り組みを推進します。

#### 重点施策6 地域活動への参画

- 地域の一員であることの自覚を促し、地域の活動に参加することを通して、地域への愛着と地域に貢献していこうとする態度を育みます。

#### 重点施策7 地域の歴史文化の保護と伝承

- 「保護」「伝承」されてきた地域文化への理解を深め、先人の業績に感謝と敬意の念を抱き、未来へ継承していこうという態度を育みます。
- 「伊豆の国歴史館いずる」を活用し、史跡めぐりや体験学習を実践し、伊豆の国市の歴史・文化を理解することを通して、ふるさとに誇りを持ち、伊豆の国市を愛する心を育みます。

#### 重点施策8 安全で安心して学べる教育環境の確保

- 緊急度に応じた的確な修繕と安全対策の実施により、教育施設の健全性を保ち、子どもたちが安心して学べる教育環境を整えます。
- 急速に進む少子化を念頭に、子どもたち一人ひとりの資質や能力を伸ばしていく教育環境づくりを目指し、学校の適正規模や適正配置を再検討し、学校の再編に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。